

令和6年度重点事業について
令和6年度当初予算の概要

資料3

【総 額】	① 17,558,702千円(障害者福祉推進課) ② 51,071,737千円(障害福祉事業課) 合計68,630,439千円(前年度当初比5,744,075千円 9.1%増)	政策経費の推移 (人件費、社会保障費 (義務的経費)を除いた額)	・令和 3年度 2,464,700千円(2課合計) ・令和 4年度 5,245,018千円(2課合計) ・令和 5年度 2,399,033千円(2課合計) ・令和 6年度 4,293,284千円(2課合計)
	うち社会保障費 ① 16,432,184千円(障害者福祉推進課) ② 47,609,061千円(障害福祉事業課) 合計64,041,245千円(前年度当初比3,796,084千円 6.3%増)		865,762千円(障害者福祉推進課) 3,427,522千円(障害福祉事業課)

主要施策	取組の方向性(八次)	数値目標(八次)	事業名等	事業概要	R4年度決算額(千円)	R5年度当初予算額(千円)	R6年度当初予算額(千円)	説明
1障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	1－(1)－① 1－(2)－①	1-1グループホーム等の定員	社会福祉施設等施設整備費補助金	障害者グループホーム(住まいの場)や生活介護・就労継続支援B型事業所等(日中活動の場)を整備しようとする者に対して、整備に要する費用の一部を補助する。対象事業:創設・大規模改修等	70,000 (翌年度繰越291,820)	576,000	596,048	
1障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	1－(1)－①	1-1グループホーム等の定員	障害者グループホーム運営費補助	グループホームの運営の安定及び人材の確保に資するため、グループホームに対して運営費の補助を実施する。	243,563	254,000	310,000	
1障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	1－(1)－①	1-1グループホーム等の定員	障害者グループホーム等支援事業(支援ワーカー)	グループホーム等のバックアップ体制の強化を図るため、「障害者グループホーム等支援ワーカー」を配置し、新規開設支援や事業者に対する運営相談支援などのほか、地域におけるグループホーム等の支援体制の整備を行う。	60,008	60,290	117,590	増加するグループホームに対応するため、ワーカーの処遇改善を行うとともに、全ての箇所を増員した。
1障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	1－(1)－① 1－(1)－②	1-1グループホーム等の定員	障害者グループホーム等支援事業(家賃補助、職員研修)	グループホーム等の質の充実と利用者の生活を支援するため、利用者への家賃補助(原則国1万円に加え県単2万円上限)及びサービス管理責任者や世話人など従事職員研修を実施する。	280,084	334,000	357,000	
1障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現			袖ヶ浦福祉センター利用者受入等支援事業	袖ヶ浦福祉センターについては、利用者全員の移行を行った上で、令和4年度末までにセンターを廃止する県の方針を令和2年8月に発表し、本人及び保護者の意向を踏まえ、受入環境の整備を図りながら移行を進めてきた。その結果、令和4年9月中に全ての利用者の移行が完了したことから、令和5年3月末にセンターを廃止した。利用者のうち、強度行動障害区分の方に対する支援員の追加配置については、本人の状況の判定を継続的(3年毎)に行い、必要額を本事業で継続して補助を行う。	67,336 (翌年度繰越31,386)	72,479	65,278	・R5年度実施概要 ①グループホーム等整備補助(R4繰越分) ②支援員等の配置補助
1障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	1－(6)－⑥		千葉リハビリテーションセンター再整備事業	開設から40年余りが経過し、施設・設備が老朽化しているほか、居室や訓練室等のスペースが不足している千葉リハビリテーションセンターの再整備について、令和5年度から第1期工事となる外来診療棟の建築工事に着手しており、令和8年度の供用開始に向けて整備を進めている。	596,881	27,600 [R5→R9継続費14,486,000] [R5→R8債務負担行為 110,000]	2,146,814 [R6→R7債務負担行為 5,000]	・R5年度実施概要 ①建築工事(第1期) ②家屋事前調査 ③開院運用調整支援業務委託 等 ・R6年度実施概要 ①建築工事(第1期) ②開院運用調整支援業務委託 ③インフラ切替工事(配電盤の増強) 等

主要施策	取組の方向性(八次)	数値目標(八次)	事業名等	事業概要	R4年度決算額(千円)	R5年度当初予算額(千円)	R6年度当初予算額(千円)	説明
1障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	1－(5)－④		重度の強度行動障害のある方への支援体制整備事業	現在、在宅等で生活している重度の強度行動障害のある方が、県が設置する「暮らしの場支援会議」の判定を受け、障害特性に応じた暮らしの場に入所(居)できるよう、受け入れる民間施設への施設整備や支援員の追加配置に対し、補助を行う。	23,803 (翌年度繰越 49,044)	124,895	142,335	
1障害のある人のニーズに即した多様な暮らしの実現	1－(5)－④		短期入所施設による受入拡大支援事業	重度の強度行動障害のある方の受入を進めるにあたり、正式な受入先が決まるまでの間など、一時的に受入れを行う施設を確保するため、民間の登録事業者による短期入所施設の改修に対して補助を行う。	—		48,000	
7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	1－(4)－①	1－11「強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業」受講者数	強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業	強度行動障害のある方への支援を適切に実施するため、民間施設の支援員等を対象に、強度行動障害についての理解を深め、支援の専門性を高めるための研修を実施する。	6,250	6,865	6,277	
7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実			強度行動障害者等県単加算事業	地域において居宅あるいは通所サービスでの支援が困難な強度行動障害者(児)を受け入れ支援する民間の入所施設等に対して加算を行うことで、強度行動障害者(児)への支援の向上及び受け皿の拡充を図る。	48,146	56,000	100,000	地域移行を進めるため、補助対象施設に新たにグループホームを追加した。
7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	7－(1)－①	7－5発達障害者支援センター運営事業	発達障害者支援センター運営事業及び発達障害者支援体制整備事業【主要施策5 再掲】	発達障害のある人が可能な限り身近な地域で必要な支援が受けられるよう、千葉県発達障害者支援センター(CAS)を拠点として、市町村・事業所等への適切な助言等のバックアップや専門性の高い人材の養成を目的とした研修等を行う。また、発達障害者地域支援マネジャーをCASに配置し、市町村の発達支援体制整備や事業所等への個別支援、医療機関との連携等、地域支援機能の強化を図る。	66,153	65,900	66,512	
7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	5－(1)－⑨ 7－(1)－③		高次脳機能障害支援普及事業	高次脳機能障害のある人に対する支援体制を確立することを目的として、専門的な相談支援、関係機関との支援ネットワークの充実、高次脳機能障害に関する普及啓発、支援手法等に関する研修を行う。	22,000	22,000	22,000	
7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	7－(2)－①		重症心身障害短期入所特別支援事業	在宅で生活する重症心身障害者(児)の保護者等の負担を軽減するため、基準上配置が求められていない看護師の配置等を行った福祉型短期入所事業所に加算を行うことで、重症心身障害者(児)の受け皿の拡充を図る。	3,489	4,000	5,107	
7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	7－(3)－①		重度心身障害者(児)医療給付改善事業	重度心身障害者(児)の医療費負担の軽減を図るため、各医療保険による医療給付の自己負担額を助成する市町村の事業に対し、補助金を交付する。	3,664,623	4,500,000	4,500,000	令和2年8月から精神障害者保健福祉手帳1級所持者を新たに対象とした。
7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	7－(4)－①、③		ひきこもり地域支援センター事業	ひきこもり本人及び家族等からの相談に応じ、相談内容により関係機関(医療、保健、福祉、教育、労働等)につなげるとともに、希望により面接・アウトリーチ(訪問支援)を行う。	6,427	7,468	8,762	

主要施策	取組の方向性(八次)	数値目標(八次)	事業名等	事業概要	R4年度決算額(千円)	R5年度当初予算額(千円)	R6年度当初予算額(千円)	説明
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(1)－①、⑥		障害福祉のしごと魅力発信事業	障害福祉分野の人材の確保を図るため、障害福祉のしごとへの理解を促進し、そのイメージを向上させることを目的とした事業を委託により実施		—	5,000	R6新規事業
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(3)－③		更生医療等給付費負担金	市町村が、一般では既に治癒したと考えられる障害に対しその障害の程度を軽くするために更生医療を給付した場合、その更生医療給付費を負担する。	1,940,113	2,004,000	1,964,000	
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(3)－③		自立支援医療(精神通院医療)費	障害者総合支援法第58条に規定する自立支援医療(精神通院医療)に要する費用を負担するもの(扶助費)。なお、保険が優先適用され、残余の費用について公費で負担することとなっている。	8,833,753	8,833,000	9,245,000	
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(3)－⑬、⑭		依存症対策総合支援事業	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症者及びその家族に対して包括的に支援するため、関係機関との連携会議の実施、依存症専門相談支援、支援者の研修、依存症者に対する治療・回復プログラム等を実施する。	3,288	4,824	4,430	
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(4)－①		障害者スポーツ団体等支援事業	障害者スポーツ競技団体やレクリエーション団体の活動を支援することにより、東京パラリンピックに向けて活性化した競技団体の活動をレガシーとすることで、障害者スポーツの振興を図る。	17,078	18,600	18,600	
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(4)－③		千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター事業	障害のある人のスポーツ・文化活動の中心施設として千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターを運営するとともに、センター体育室の空調設備整備に着手する。 現在、センターに老朽化等の課題があることから、今後のセンターのあり方について検討する。	28,924	32,301	29,202	
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(4)－④、⑤、⑧		パラスポーツ振興事業	障害者スポーツの理解促進を図るとともに、障害のある人が県内の全ての地域でスポーツに親しめる環境の充実を図る。	30,656	37,600	34,000	
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(4)－⑨		障害者芸術文化活動支援事業	障害者や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動を支援する「障害者芸術文化活動支援センター」を設置し、地域における障害者の自立と社会参加の促進を図る。	7,255	7,553	9,053	
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(6)－⑦		災害派遣精神医療チーム(DPAT)の体制整備	災害時における、被災地域の精神保健医療機能の一時低下や災害ストレス等による新たな精神的問題の発生に対して、専門性の高い精神医療の提供と精神保健活動の支援を行う災害派遣精神医療チーム(DPAT)を養成するため、研修や訓練を実施し、体制を整備する。	1,064	3,401	3,987	
8様々な視点から取り組むべき事項	8－(7)－①		ヘルプマーク普及・啓発事業	内部障害者や難病の方、または妊娠初期の方など、外見では不自由や障害に気付かれにくい方々が、困っているときに身につける「ヘルプカード」、ストラップ型の「ヘルプマーク」を継続して作成するとともに広く周知するため、「チラシ」「ポスター」「ステッカー」を作成する。	2,254	4,100	3,900	